

個別事業個票

基本目標 地球市民として、未来を守る〈低炭素社会の構築〉

No1

事務事業名	林地残材利活用事業
事業概要	荒廃森林再生事業（県事業）を基本として、間伐材（林地残材）のバイオマス発電への活用促進に取り組みます。
現況 (26年度)	搬出量 173.311m ³

取り組み実績

年度	実績等
27年度	荒廃森林再生事業による搬出量 約65m ³
28年度	
29年度	

No2

事務事業名	消化ガスによる発電
事業概要	中央及び南部浄化センターの汚泥処理過程で発生する消化ガスを有効利用し、環境負荷低減及び経費節減を図ります。
現況 (26年度)	発電量 373万kwh

取り組み実績

年度	実績等
27年度	発電量 380万kWh
28年度	
29年度	

No3

事務事業名	住宅エコリフォームの支援
事業概要	住宅エコリフォーム工事に対して市から補助を行うことにより、住宅性能の維持向上、地球温暖化対策の推進や地域経済の活性化を図ります。
現況 (26年度)	47件

取り組み実績

年度	実績等
27年度	8件
28年度	
29年度	

No4

事務事業名	住宅耐久性向上事業
事業概要	既存市営住宅の改修事業において、遮熱仕様防水の採用促進等、省エネ性能の向上を進めます。
現況 (26年度)	遮熱仕様による屋上防水戸数（実施割合）1,322戸（29.6%）

取り組み実績

年度	実績等
27年度	1,626戸（35.3%）
28年度	
29年度	

No5

事務事業名	住宅・建築物の省エネ促進事業
事業概要	住宅・建築物からの二酸化炭素の排出削減を図るため、住宅・建築物に係る省エネ関連法に基づき、低炭素建築物の認定制度等の周知・啓発に取り組みます。
現況 (26年度)	認定件数：10件

取り組み実績

年度	実績等
27年度	認定件数：39件
28年度	
29年度	

No6

事務事業名	エコアクション21推進事業費補助
事業概要	エコアクション21認証取得費及び集合コンサル事業費の補助を行い、中小企業等による環境配慮活動を促進します。
現況 (26年度)	エコアクション21認証取得事業所数 累計62事業所

取り組み実績

年度	実績等
27年度	エコアクション21認証取得事業所数 累計68事業所
28年度	
29年度	

No7

事務事業名	ぐるめエコ・パートナー事業（再掲：重点事業No19）
事業概要	市民・事業所・行政が協働してエネルギー利用効率化を中心としたエコ活動を行い、地球温暖化緩和に取り組みます。
現況 (26年度)	ぐるめエコ・パートナー登録者数11,055人

取り組み実績

年度	実績等
27年度	市民会員：2,171人 事業所会員：104社
28年度	
29年度	

No8

事務事業名	自転車利用促進事業
事業概要	市中心部の自転車ネットワーク路線を中心に、目的地までのアクセスや回遊性と歩行者と自転車が安全で快適に通行できる、自転車走行空間を整備します。
現況 (26年度)	—

取り組み実績

年度	実績等
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ■H27.11 久留米市自転車利用促進計画策定 ■H28.3.27 サイクルチャレンジぐるめ開催(久留米サイクルファミリーパーク) ■意識啓発活動用チラシ作成およびグッズ製作
28年度	
29年度	

No9

事務事業名	公共交通利用促進事業
事業概要	既存公共交通を維持するとともに市域内外での円滑な移動が可能となるような、公共交通体系の整備を図り、公共交通利用促進を図ります。
現況 (26年度)	公共交通乗降客数 ○鉄道 30,933,000人/年 ○路線バス 9,774,000人/年

取り組み実績

年度	実績等
27年度	公共交通乗降客数 ○鉄道 30,929,000人/年 ○路線バス9,638,000人/年
28年度	
29年度	

No10

事務事業名	大規模交差点改良事業
事業概要	急速に増加する車両交通により、交通渋滞が恒常化している幹線道路の交差点を改良して交通渋滞の緩和を図り、温室効果ガスの排出削減に寄与します。
現況 (26年度)	交通量実態調査を実施

取り組み実績

年度	実績等
27年度	大規模交差点改良箇所の検討
28年度	
29年度	

No11

事務事業名	久留米市田主丸財産区間伐推進プロジェクト
事業概要	久留米市田主丸財産区有林内において、平成21年度から24年度に行った間伐によって見込まれる、二酸化炭素(CO2)の吸収量をクレジット化及び販売し、その新たな資金として持続可能な森林経営を継続し、森林の持つ水源かん養機能等公益的機能の維持増進を図ります。
現況 (26年度)	J-VER 売上数量 175 t

取り組み実績

年度	実績等
27年度	売上数量 111 t 残りクレジットが少なくなったため再認証を申請、新たに1,329 tをクレジット化
28年度	
29年度	

No12

事務事業名	企業誘致推進事業
事業概要	製造業のうち、グリーンイノベーションを推進する環境関連分野を重点産業分野として位置付け、支援措置を重点化するなど戦略的な誘致活動に取り組み、企業立地を促進します。
現況 (26年度)	グリーンアジア国際戦略総合特区の指定企業1社

取り組み実績

年度	実績等
27年度	グリーンアジア国際戦略総合特区の指定企業1社が産業団地へ立地
28年度	
29年度	

No13

事務事業名	緑のカーテン推進事業
事業概要	地球温暖化の緩和の一環として、公共施設にアサガオやゴーヤなどのつる性植物で覆う「緑のカーテン」を設置し、建物全体を冷やすとともに市民の目にふれやすい公共施設に設置することで家庭における緑のカーテンの実践を促します。
現況 (26年度)	緑のカーテン設置数 84箇所

取り組み実績

年度	実績等
27年度	設置数 84箇所
28年度	
29年度	

基本目標2 「もったいない」の心があふれる暮らし（循環型社会の構築）

No14

事務事業名	ごみ問題啓発広報事業
事業概要	ごみ減量・リサイクルの促進のため、リサイクルNEWSなどの広報紙を定期的に発行するとともに、地域において3R学習会を開催し、ごみの排出者である市民・事業者の意識啓発を図ります。
現況 (26年度)	学習会（36回：1,000人）、施設見学（31回：759人）を実施

取り組み実績

年度	実績等
27年度	学習会（31回：1,038人）、施設見学（20回：517人）
28年度	
29年度	

No15

事務事業名	生ごみ等の自家処理の推進
事業概要	家庭から出る生ごみや剪定枝、落ち葉等の自家処理を推進するため、環境フェアや3R推進事業などイベントでの講習会や、地域での3R学習会などを通じて、様々な手法等を体験させながら、家庭での取り組みの拡大に努めます。 また、家庭用の生ごみ処理容器（コンポスト容器、密閉容器）や段ボールコンポスト、自家処理機器（電動式生ごみ処理機、小型剪定枝粉碎機）の購入費の一部を補助し、生ごみ等の自家処理を推進するとともに、発生源でのごみ減量を図ります。
現況 (26年度)	生ごみ処理容器等148台（電動式18台、処理容器130台）の補助を行った。 また、電動式生ごみ処理機で処理された処理物を有効に活用する「乾燥生ごみ活用モデル事業」を平成26年4月から開始。

取り組み実績

年度	実績等
27年度	生ごみ処理容器等423台（電動式31台、処理容器392台） 剪定枝粉碎機（63台） 乾燥生ごみ活用モデル事業（持参74人、362.71kg）
28年度	
29年度	

No16

事務事業名	ごみ減量・分別リサイクル推進事業
事業概要	排出状況が悪い集積所利用者に対し、分別排出の徹底の呼びかけを行い、集積所ごとの排出状況を日々の収集作業時に調査・記録し、清潔感あふれるまちづくりをめざします。
現況 (26年度)	立ち番指導（資源物集積所）：91箇所実施 早期資源物集積所パトロール：41回（291箇所）実施 地域説明会の実施：33回 延べ1,951人

取り組み実績

年度	実績等
27年度	立ち番指導（資源物集積所）：123箇所実施 早期資源物集積所パトロール：随時実施 地域説明会の実施：456回 延べ16,742人
28年度	
29年度	

No17

事務事業名	生ごみリサイクルリーダー育成事業
事業概要	家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、生ごみリサイクルに興味を持つ人に地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーとして活躍していただけよう生ごみリサイクルに関する知識の講習等を実施し、育成を進めます。
現況 (26年度)	リーダー育成研修の開催 生ごみリサイクル講習会参加者21名が参加

取り組み実績

年度	実績等
27年度	リーダー育成研修の開催(52名参加) 生ごみリサイクル講習会参加者25名が参加
28年度	
29年度	

No18

事務事業名	古紙持込協力店制度
事業概要	市内「古紙持込協力店」の10店舗を無料で古紙を受け入れる拠点とし、家庭や事業所から発生し、燃やせるごみに混入している古紙のリサイクルを促進します。
現況 (26年度)	古紙発生事業所106社に対し、古紙の分別・リサイクルと市内の持ち込み協力店への誘導を実施

取り組み実績

年度	実績等
27年度	古紙発生事業所約1,700社に対し、古紙の分別・リサイクルと市内の持ち込み協力店への誘導チラシを送付
28年度	
29年度	

No19

事務事業名	廃食用油リサイクル事業
事業概要	石鹼や飼料、軽油代替燃料などとして有効利用できる廃食用油のリサイクルを推進するため、各校区の環境衛生連合会を中心に収集活動を促進します。
現況 (26年度)	回収量 14,160L

取り組み実績

年度	実績等
27年度	回収量 14,186L
28年度	
29年度	

No20

事務事業名	ごみ焼却施設余熱有効利用(上津クリーンセンター)
事業概要	ごみ焼却時に発生する余熱で発電を行い、施設内の必要電力をまかなうと同時に、余熱の一部を冷暖房・給湯及び隣接する温水プールの熱源として利用します。
現況 (26年度)	自家発電量 11,710,120kwh

取り組み実績

年度	実績等
27年度	自家発電量 11,678,060kWh
28年度	
29年度	

No21

事務事業名	ごみ焼却施設余熱有効利用（宮ノ陣クリーンセンター）
事業概要	ごみ焼却時に発生する余熱の一部を、場内の足湯や施設外の農業用ハウスでの園芸栽培の熱源として利用、さらに高効率の発電を行うなど、余熱の有効活用を図ります。
現況 (26年度)	—

取り組み実績

年度	実績等
27年度	場内の足湯については、施設が完成し、平成28年度に供用開始を行う。 なお、施設外で利用する余熱については、関係農業団体と継続的に協議を実施した。
28年度	
29年度	

No22

事務事業名	剪定枝リサイクル事業
事業概要	焼却ごみの減量と貴重な資源である剪定枝のリサイクルを進めるとともに、畜産糞尿の適正処理と土づくりの推進による農産物の安定生産と品質向上といった「資源循環型農業の確立」に寄与していくため、剪定枝チップの酪農業者への供給→堆肥化→農産物の循環を推進していきます。
現況 (26年度)	剪定枝リサイクル量216 t

取り組み実績

年度	実績等
27年度	剪定枝リサイクル量250 t
28年度	
29年度	

No23

事務事業名	焼却灰（主灰）セメント化
事業概要	焼却灰（主灰）のセメント資源化を行い、リサイクルの推進及びごみの適正処理と併せて埋立地の短命化防止を図ります。
現況 (26年度)	セメント原料として灰をリサイクルした量 6,650t

取り組み実績

年度	実績等
27年度	セメント原料として灰をリサイクルした量 6,575 t
28年度	
29年度	

No24

事務事業名	産業廃棄物適正処理の指導
事業概要	産業廃棄物関係の許可、指導、不利益処分等の行政権限を適法に執行することにより、産業廃棄物の適正処理の推進を図ります。
現況 (26年度)	産廃収運業：新規0件、更新2件 産廃処分業：新規2件、更新10件 指導76件 不利益処分2件

取り組み実績

年度	実績等
27年度	産廃収運業：新規0件、更新6件 産廃処分業：新規5件、更新15件 指導52件 不利益処分0件
28年度	
29年度	

No25

事務事業名	放置自動車対策事業
事業概要	公共の場所の環境を良好な状態に維持していくために、放置自動車の適正処理及び放置行為の未然防止を図ります。
現況 (26年度)	年度始放置台数7台 年度内発生件数10台 年度内撤去台数7台 年度未放置台数10台

取り組み実績

年度	実績等
27年度	年度始放置台数 10台 年度内発生件数 6台 年度内撤去台数 8台 年度未放置台数 8台
28年度	
29年度	

基本目標3 自然とふれあい、自然と生きる（豊かな自然環境の保全と共生）

No26

事務事業名	有害鳥獣広域防除対策事業
事業概要	市内の農林産物を有害鳥獣類の被害から保護するため、「久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会」参加の関係団体と協力し、適正な防除及び駆除を行います。
現況 (26年度)	有害鳥獣による農作物被害は、ピーク時23年度比 26年度 約68%の減少

取り組み実績

年度	実績等
27年度	有害鳥獣による農作物被害は、ピーク時23年度比 27年度 約71%の減少
28年度	
29年度	

No27

事務事業名	防除実施計画の推進
事業概要	久留米市アライグマ防除実施計画や外来種ブラックリスト等に基づく計画的な防除等の外来種対策を推進します。
現況 (26年度)	-

取り組み実績

年度	実績等
27年度	久留米市アライグマ防除実施計画を策定し、特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律に基づく防除確認を受けた。 アライグマ4頭捕獲
28年度	
29年度	

No28

事務事業名	土づくり推進対策事業
事業概要	家畜ふん尿の堆肥化施設の整備を支援し、堆肥を活用した土づくりによる米・麦、野菜などの生産を推進するとともに、市民への土づくりの理解促進を図ります。
現況 (26年度)	堆肥を活用した農産物の収穫体験イベントの参加者 H26年度 288人

取り組み実績

年度	実績等
27年度	土づくり広場の地力回復に努めたため（連作障害によるもの）収穫体験イベントは未実施。年2回のJAくるめグリーンフェア、農業まつりにおいて西部土づくりセンター堆肥のPRを行った。
28年度	
29年度	

No29

事務事業名	荒廃森林再生事業
事業概要	15年間以上整備されていない個人や法人が所有する人工林について、福岡県森林環境税を財源として、間伐等の整備を行い、森林の再生をめざします。
現況 (26年度)	整備面積(実施割合) 累計364.29ha(52.74%)

取り組み実績

年度	実績等
27年度	整備面積(実施割合) 累計402.97ha(58.34%)
28年度	
29年度	

No30

事務事業名	中山間地域等直接支払事業
事業概要	中山間地域等における農業生産活動を維持し、農業が持つ多面的機能の確保を図るため、集落内の協定に基づく農業生産や農用地の維持管理等の取り組みを促進します。
現況 (26年度)	集落協定:6協定 参加農家数:327戸 対象農用地面積:156ha

取り組み実績

年度	実績等
27年度	集落協定:6協定 参加農家数:328戸 対象農用地面積:133ha
28年度	
29年度	

No31

事務事業名	農地防災事業(ため池改良工事)
事業概要	農業用施設(水路、ため池、クレーク等)による自然災害の未然防止と、機能回復のための整備を推進し、農地の保全整備を図ります。
現況 (26年度)	水源涵養等多面的機能を有する農業用ため池を整備した。(神ノ園ため池1期工事、神野池2期工事)

取り組み実績

年度	実績等
27年度	水源涵養等多面的機能を有する農業用ため池を整備した。(神ノ園ため池2期工事、汐井川ため池)
28年度	
29年度	

No32

事務事業名	四季の森づくり事業
事業概要	耳納山系の森林が持つ機能を高度に発揮させることで、市民が安らぎや季節を感じる事ができる交流事業を開催する、四季の森ふれあい教室開催委員会の取り組みを支援します。
現況 (26年度)	交流事業 実施回数:7回 参加人数:367名

取り組み実績

年度	実績等
27年度	交流事業 実施回数:7回 参加人数:280名
28年度	
29年度	

基本目標4 心地よい暮らしを守る（快適な生活環境の保全）

No33

事務事業名	大気汚染防止対策事業（PM2.5等への対応）
事業概要	大気汚染物質の常時監視、有害大気汚染物質の測定、工場・事業場の排ガスの監視及び建物解体時におけるアスベスト除去作業に係る作業基準の現場確認を行います。光化学オキシダント及び微小粒子状物質（PM2.5）については、緊急時対策実施要領に基づき対応します。また、市民の健康を守るために、PM2.5の成分を分析し、国や県が発生源を特定、規制対象を検討する為のデータを提供していきます。
現況（26年度）	○浮遊粒子状物質は4局のうち3局で環境基準内 ○二酸化いおう、二酸化窒素は環境基準内 ○微小粒子状物質、光化学オキシダントは環境基準未達成 ○有害大気（ベンゼン・トリクロロエチレン・四クロロエチレン・トルエン）は環境基準内 ○ばい煙発生施設5事業場、VOC排出施設1事業場に立入、すべて基準値内 ○特定じん（アスベスト）排出等作業9件、概ね基準内

取り組み実績

年度	実績等
27年度	○浮遊粒子状物質は4局のうち3局で環境基準内 ○微小粒子状物質、光化学オキシダントは環境基準未達成 ○有害大気（ベンゼン・トリクロロエチレン・四クロロエチレン・トルエン）は環境基準内 ○ばい煙発生施設2事業場、VOC排出施設1事業場に立入、すべて基準値内 ○特定じん（アスベスト）排出等作業10件、概ね基準内 ○二酸化いおう、二酸化窒素は環境基準内
28年度	
29年度	

No34

事務事業名	水質汚濁防止対策事業
事業概要	公共用水域及び地下水等の常時監視を行い、工場・事業場排水の監視を行い、また水環境保全に関する啓発等を行います。また、工場・事業場による水質汚濁を防止するため、工場や事業場の監視・指導体制の充実を図ります。なお、法の規制対象外の小規模事業場に対しては、指導要綱に基づいた指導を行います。
現況（26年度）	○公共用水域：26河川41地点の水質調査を実施 ○地下水：3地点の概況調査及び7地点の継続監視調査を実施 ○工場、事業場：52事業場に対して立入検査を行い、法基準等を超過した5事業場に対して指導を行っている

取り組み実績

年度	実績等
27年度	○公共用水域：26河川41地点の水質調査を実施 ○地下水：3地点の概況調査及び8地点の継続監視調査を実施 ○工場、事業場：42事業場に対して立入検査を行い、指導要綱の基準を超過した2事業場に対して指導を行った
28年度	
29年度	

No35

事務事業名	土壌汚染対策事業
事業概要	土壌汚染のおそれについて調査を実施し、土壌汚染が発見された際は、土壌汚染拡大防止のために、土地所有者等に対し、土壌汚染についての適切な措置を行うように指導を行います。
現況（26年度）	一定の規模(3000㎡)以上の土地の形質変更の届出10件については、全て土壌汚染のおそれに該当せず、調査命令発出なし

取り組み実績

年度	実績等
27年度	一定の規模(3000㎡)以上の土地の形質変更の届出10件については、全て土壌汚染のおそれに該当せず、調査命令発出なし
28年度	
29年度	

No36

事務事業名	騒音防止対策事業
事業概要	自動車交通騒音振動調査を実施し、環境基準の達成状況の把握、必要に応じて管理者への対策の要請を行い、生活環境の保全を図ります。
現況（26年度）	○幹線道路3路線で騒音調査実施。全て要請限度内。 ○道路管理者へ情報提供を行った

取り組み実績

年度	実績等
27年度	○幹線道路3路線で騒音調査実施。全て要請限度内。 ○道路管理者へ情報提供を行った
28年度	
29年度	

No37

事務事業名	悪臭防止対策事業
事業概要	悪臭発生源である事業場に対して監視、指導を実施し、生活環境の保全を図ります。また、悪臭苦情発生時に発生源の調査及び指導を行い、必要に応じて悪臭測定を行います。
現況 (26年度)	野焼き等の通報に対し、指導等を行っている

取り組み実績

年度	実績等
27年度	野焼き等の大気苦情で59件、事業所等その他による悪臭苦情で13件の指導等を行った。
28年度	
29年度	

No38

事務事業名	ダイオキシン類対策事業
事業概要	人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるダイオキシン類による汚染状況の把握に努めるとともに、濃度によっては、発生源である工場や事業場に対する監視・指導を行います。
現況 (26年度)	○大気2地点、河川(水質・底質)3地点、地下水2地点、土壌2地点で調査を実施。全て環境基準達成。 ○1事業場の排ガスを調査を実施。排出基準適合。

取り組み実績

年度	実績等
27年度	○大気2地点、河川(水質・底質)3地点、地下水2地点、土壌2地点で調査を実施。全て環境基準達成。 ○1事業場の排ガスを調査を実施。排出基準適合。
28年度	
29年度	

No39

事務事業名	PCB廃棄物適正処理対策事業
事業概要	その毒性から製造及び使用が禁止され、特別措置法において処理期限が定められているPCB廃棄物について、法に定める処理期限内での早期の適正処理にむけて、PCB廃棄物保管事業場に対する監視・指導を行います。
現況 (26年度)	PCB特別措置法に基づく届出事業者(60社)への立入調査を行っている

取り組み実績

年度	実績等
27年度	○PCB特別措置法に基づく届出事業者(60)への立入調査を実施した。 ○自家用電気工作物設置事業者(1823)への調査を実施した。
28年度	
29年度	

No40

事務事業名	市民とつくる花と緑のまちづくり
事業概要	各地域において、市民がボランティア団体を結成し、自主的に花と緑のまちづくりに取り組んでいる場所を『市民とつくる花と緑の名所』として指定し、支援を行います。
現況 (26年度)	名所指定 H26 5箇所 累計89箇所

取り組み実績

年度	実績等
27年度	市民とつくる花と緑の名所 4箇所指定 累計指定箇所 93箇所 新たに4箇所(ふれあい花壇、荘島よかつさい第二花壇、アケボノ花壇、筒江いこいの園)の名所を指定し、地元ボランティアと一緒に名所づくりに取り組んだ。
28年度	
29年度	

No41

事務事業名	生け垣設置奨励制度
事業概要	生け垣を設置した市民・事業者に対して補助を行い、一般家庭・事業所の緑化促進を図ります。
現況 (26年度)	生け垣設置件数(累計件数) 34件 (累計1,985件)

取り組み実績

年度	実績等
27年度	生け垣設置件数 24件 (累計2,009件) 久留米13件、田主丸5件、城島1件、三浦5件、合計24件の申請があった。
28年度	
29年度	

No42

事務事業名	都市景観形成促進事業
事業概要	景観重点地区の指定や、景観重要樹木・景観重要建造物の指定を行い、良好な景観形成の促進を図ります。
現況 (26年度)	京町周辺景観重点地区の住民合意形成

取り組み実績

年度	実績等
27年度	京町周辺景観重点地区の指定 景観重要樹木の指定(浅井の一本桜)
28年度	
29年度	

No43

事務事業名	都市基幹公園整備事業(津福公園)
事業概要	市内の南西部の核となる総合公園(津福公園)の整備を行います。
現況 (26年度)	津福公園整備

取り組み実績

年度	実績等
27年度	津福公園整備(駐車場施設、照明施設、修景施設)
28年度	
29年度	

No44

事務事業名	住区基幹公園整備事業
事業概要	地域資源を生かした特色ある公園の施設計画を地域との協働で策定し、公園整備を行います。
現況 (26年度)	国分公園整備 寺山公園整備 京隈公園

取り組み実績

年度	実績等
27年度	国分公園整備(用地買戻) 寺山公園整備(物件等補償調査業務) 正源氏公園整備(造成工、間伐工)
28年度	
29年度	

No45

事務事業名	坂本繁二郎生家の活用
事業概要	魅力ある歴史環境づくりのため、市指定文化財である坂本繁二郎生家を保存・活用し、まちづくりや観光の拠点としていきます。
現況 (26年度)	企画展(2回)、昔のくらし体験講座(6回)、生誕記念コンサート及び茶会の実施

取り組み実績

年度	実績等
27年度	企画展(2回)、日本の文化体験講座(5回)、新年落語寄席、生誕記念コンサート及び茶会の実施
28年度	
29年度	

No46

事務事業名	歴史的建造物保存整備事業
事業概要	久留米市固有の文化遺産である伝統的建造物を保存活用することで、市民の文化的資質を高め、郷土愛の高揚に資すると共に、観光価値を高め、あわせて地域の活性化を図ります。
現況 (26年度)	寺町の歴史的建造物等調査について4カ寺の調査を行ったほか、旧三島家長屋門の修繕

取り組み実績

年度	実績等
27年度	寺町の歴史的建造物等調査について3カ寺の調査を行ったほか、県指定有形文化財鹿毛家住宅の屋根修理事業を支援
28年度	
29年度	

No47

事務事業名	歴史ルートづくり事業
事業概要	高良山と耳納北麓エリアの魅力ある地域資源を、歴史的背景に基づいた久留米ならではのストーリーとして紹介するとともに、ストーリーの拠点となる環境整備や拠点整備を行います。
現況 (26年度)	第2期整備事業として実施した田主丸大塚古墳本体の整備工事を完了

取り組み実績

年度	実績等
27年度	大塚古墳歴史公園全体供用開始 重要文化財高良大社保存修理事業への支援 久留米歴史ストーリー：2つ作成 高良山樹木管理の実施 ※事業概要一部変更
28年度	
29年度	

No48

事務事業名	筑後国府跡歴史公園整備事業
事業概要	久留米市を代表する重要な歴史遺産である国指定史跡筑後国府史跡の指定地を公有化し、歴史公園として整備を推進します。
現況 (26年度)	歴史公園整備に係る基本計画について検討

取り組み実績

年度	実績等
27年度	歴史公園整備に係る基本計画について検討
28年度	
29年度	

基本目標5 みんなで考え、行動する〈市民環境意識の向上と協働の推進〉

No49

事務事業名	子ども向けエネルギー関連講座の開催
事業概要	子どもたちが将来、「地球温暖化問題の現状」を正しく認識した上で、「持続可能な社会の構築に向けて求められている取り組み」について、自分に出来ることを実践し、持続可能な社会を構築する役割を担っていきけるよう育成するために、興味をそそる実験などを通して、エネルギーなどについて学べる講座を実施します。
現況 (26年度)	-

取り組み実績

年度	実績等
27年度	28年度実施に向けて講師を選定し、事業案を策定した
28年度	
29年度	

No50

事務事業名	学校版ISOの充実
事業概要	児童・生徒の環境配慮意識の向上を目的に、自ら計画を立て、主体となって、教職員と共に役割を分担して行動し、記録し、定期的に見直すことができるよう取り組みます。また、何のために「学校版環境ISO」に取り組むのかについての理解を深めるために、小学校5年生以上を対象に宮ノ陣クリーンセンター啓発施設を活用した環境学習会を行います。
現況 (26年度)	18校更新

取り組み実績

年度	実績等
27年度	20校更新(小学校15校・中学校5校)
28年度	
29年度	

No51

事務事業名	環境カレッジの開催
事業概要	講座の受講者は講義や施設見学・ワークショップ等を通じて環境意識を高めると同時に、環境問題に関するさまざまな知識を習得し意見交換することで、受講生同士の交流を図り仲間意識を醸成します。受講者同士が互いの関係を築くための環境づくりに努め、長期的には、身近な人や地域の人たちに環境問題に関する情報等を広め、知識の共有を図っていきけるよう支援します。
現況 (26年度)	くるめ環境カレッジ受講者数56人

取り組み実績

年度	実績等
27年度	参加者数：19名(定員20人) 地球温暖化の緩和に重点を置いた連続講座に見直し。少人数で深く学び、ボランティア活動ができるような人材育成のため、企画変更・講師変更を行った。 H27年度環境フェア出展実績：H26受講生2人(かえっこ)・H27受講生5人(エコにチャレンジ)
28年度	
29年度	

No52

事務事業名	くるめクリーンパートナー事業(再掲：重点事業No15)
事業概要	個人や企業等の活動希望者が、道路、公園、河川などの公共施設の中から活動範囲を決めて定期的に清掃等の美化活動を行う、くるめクリーンパートナー制度を推進し、公共施設の美化を促進します。
現況 (26年度)	クリーンパートナー登録者数19,920人(515団体・個人)

取り組み実績

年度	実績等
27年度	クリーンパートナー登録者数 20,692人(530団体・個人)
28年度	
29年度	

No53

事務事業名	エコアクション21推進事業
事業概要	エコアクション21認証取得費及び集合コンサル事業費の補助を行い、中小企業等による環境配慮活動を促進します。
現況 (26年度)	エコアクション21認証取得事業所数 累計62事業所

取り組み実績

年度	実績等
27年度	エコアクション21認証取得事業所数 累計68事業所
28年度	
29年度	

No54

事務事業名	環境関連産業支援事業
事業概要	環境・エネルギー関連事業者を対象に、専門家を迎えたセミナーや相談会の開催等による事業者への支援や、関連産業の裾野の拡大に取り組みます。
現況 (26年度)	-

取り組み実績

年度	実績等
27年度	●セミナー・個別相談会の実施 参加者数：53人 ●グループミーティングの実施 参加事業所：8社
28年度	
29年度	

No55

事務事業名	3R推進事業
事業概要	毎月実施している宝の市（家庭で不用になった家具・自転車等を無償で引き取り、希望者に低額で販売する）とともに、フリーマーケットや生ごみ堆肥化教室等の3R推進イベントを定期的に開催し、リデュース・リユースを中心とした2R+Rの意識の普及・啓発に努めます。
現況 (26年度)	3R推進イベント参加者数 6,774人

取り組み実績

年度	実績等
27年度	3R推進イベント参加者数 5,725人
28年度	
29年度	

No56

事務事業名	エコイベントマニュアルの利用促進
事業概要	イベントの規模に関わらず、主催者・参加者ともに無理なく・楽しく、快適さを共有できるイベントを開催していただくために『エコイベントのすすめ』の利用促進を図ります。
現況 (26年度)	市のさまざまなイベントにて活用を促した

取り組み実績

年度	実績等
27年度	●都市づくり委員会を通じて、市の事業での活用を呼びかけ ●市の活用に関して、環境マネジメントシステム内部環境監査時に確認・周知
28年度	
29年度	